

## ポスター報告 26

竹田 恵子 大阪大学

#報告題目 障害と生殖に関する医学的観点の解明—保健医療関連論文の計量テキスト分析を使って—

#報告キーワード 医学的観点 生殖 計量テキスト分析

#報告要旨

【背景】障害に関する医療的観点は、障害者の社会的排除に大きな影響を与えてきたと言われている。なかでも障害と生殖の関係は、医療的観点において密接にとらえられており、多くの障害者が家族形成から遠ざけられる原因の一つを提供してきたとされている。しかし、障害に関する医学的観定の抑圧性は、これまで経験的に指摘されてきた面が拭えず、その内容は実証的に明らかにされているとはいいがたい。さらには、障害に関する医学的観定の抑圧性を扱う議論において、医学的観定が一枚岩の理論的概念として捉えられる傾向にあることへも、疑問の目が向けられることはほとんどなかった。障害者が家族形成という当たり前の希望を叶えられる社会を実現するにあたって、障害と生殖に関する医学的観定の独自性を視野に入れた実証的な検証は、避けては通れない課題である。

【目的】障害と生殖の両方を扱う保健医療関連分野の日本語論文に焦点を合わせ、計量テキスト分析を用いて、障害と生殖に関わる医学的観定の特徴を実証的に解明する。

【方法】国内発行の保健医療及び関連分野の論文情報を収載する「医中誌 Web」から、障害と生殖の両方を扱う論文を抽出し、そのなかから無作為抽出された 500 論文を分析対象とした。分析に先立ち、論文の題目・要約・背景・考察に該当する箇所を抜き出し、計量テキスト分析ソフト「KHCoder」を使って解析した。また、外部変数として、論文の発行年代（1990 年代以前・2000 年代・2010 年代）、掲載雑誌分野（医学・看護学・福祉学・その他）、筆頭著者職業（医学系研究者・非医学系研究者・医療職・福祉職・その他）、障害種別（身体障害・精神障害・重症心身障害・障害全般）などを準備し、分析対象論文の特徴を探った。

【結果】階層的クラスター分析の結果、論文の背景では 8 つの主題（妊娠と出産の問題・療育環境と制度の課題・専門療育における特別な支援・障害者の行動と機能の評価・在宅サー

ビス・重症心身障害者への支援・心理的ストレスの検討と支援・障害児／者と健常家族の相互関係)、考察では9つの主題(保育における連携・妊娠と出産のリスク・人間の潜在力を生かす・当事者団体の活動・様々なサービスの提供・家族の過大なストレス・療育の工夫・障害の肯定・感情への着目)が抽出された。また、父親よりも母親へ着目する傾向が強いことも明らかにされたが、「医療職」による論文では、その傾向がひととき強いことがわかった。なお、分析対象論文において、障害児を扱うものが約9割を占め、成人した障害者の家族形成は研究課題として、ほとんど顧みられていないことも判明した。

【考察】保健医療関連分野の論文では、生殖に関わる障害はインペアメントとして着目される一方で、周産期の家族的、心理的、社会福祉制度的問題としてとらえられる面もあり、当事者に必要な支援を探ることへ力が注がれていた。このような知見をもって、障害と生殖の問題を当事者(特に母子)だけへ帰属させようとする従来の医学的観点の特徴として理解することは可能である。しかしながら、当事者の周辺には様々な困難があるものの、それらを克服できる力が当事者のなかに眠っていると考え、それを信じて育もうとする論文執筆者たちの姿勢には、医学的観点独自のローカル性が秘められていると考えられる。多くの障害者が家族形成から排除されてしまう原因を探るためには、今後このような医学的観点独自のローカル性にも着目した詳細な分析が求められるだろう。

註：本報告は JSPS 科研費 JP18K12928 (課題名：障害者の子を持つ困難に影響を与えるローカルノレッジとしての医学的観点の解明) の助成を受けたものです。